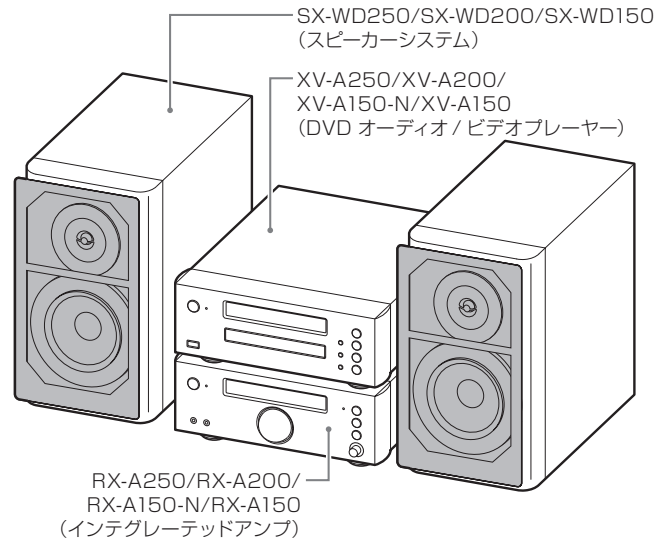
取扱説明書

インテグレーテッドアンプ
型名 **RX-A250/RX-A200/RX-A150-N/RX-A150**

DEUS

スピーカーシステム
型名 **SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150**

DVD オーディオ / ビデオ プレーヤー
型名 **XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150**

2.0+Digital Out

本機のスピーカーは、原音を忠実に再現するためにキャビネットと振動板に天然木を使用しています。そのため、外観が一台ごとに異なります。

お買い上げいただきありがとうございます

⚠ご使用の前に

この「取扱説明書」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
特に別紙の「安全上のご注意」は、必ずお読みいただき安全にお使いください。
そのあと保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。

ユーザー登録のおすすめ

お買い上げいただきました製品について「ユーザー登録」をお願いいたします。ご登録いただきますと製品のサポート情報、製品情報やイベント情報の提供サービスなどをご利用いただけます。また、今後のよりよい製品開発のためのアンケートにもご協力をお願いいたします。

●下記アドレスのホームページより、ご登録ください。
http://www.jvc.jp/reg/

本書の見かた

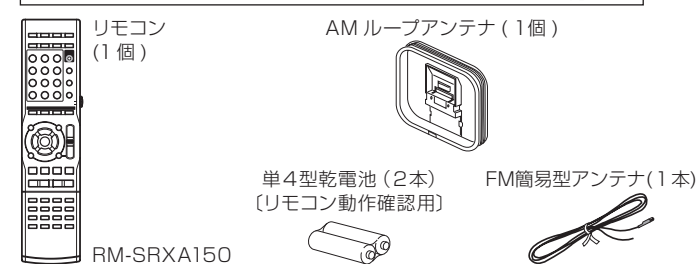
- 本書では、RX-A250/RX-A200/RX-A150-N/RX-A150 をレシーバー、SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150 をスピーカー、XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 を DVD プレーヤーと呼んでいます。
- 本書では、主に**リモコンのボタンを使って**操作説明をしています。本機のレシーバーおよび DVD プレーヤーに同じマークのボタンがある場合には、どちらのボタンもお使いいただけます。
- 本書内のイラストやテレビ画面は、説明のため簡略化や誇張しているものがあります。
- 本書では、RX-A150、SX-WD150、XV-A150 のイラストを使って説明しています。

RX-A250/RX-A200/RX-A150-N/RX-A150 付属品

リモコン（1 個）
RM-SRXA150

AM ループアンテナ（1 個）

単４型乾電池（2 本）〔リモコン動作確認用〕

FM簡易型アンテナ(1 本)

- RX-A250/RX-A200/RX-A150-N/RX-A150 を単体でご購入されたお客様は、SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150 および XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 は別売りとなります。

SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150 付属品

SX-WD250/SX-WD200:スピーカーコード(3.0m、4本)
SX-WD150:スピーカーコード(1.5m、4本)

XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 付属品

オーディオコード（0.5m、1 本）

光デジタルコード（0.5m、1 本）

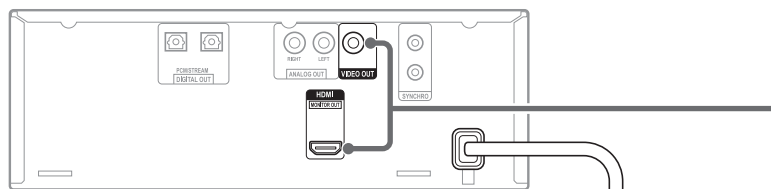
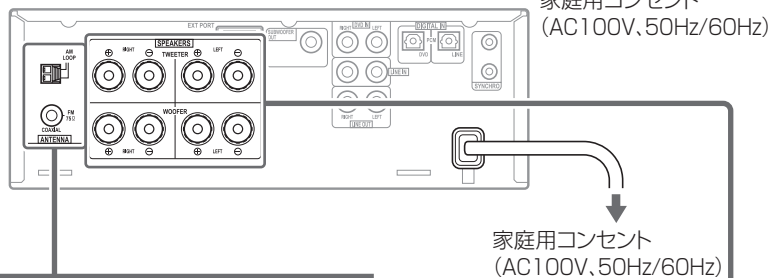
シンクロコード（1m、1 本）

ビデオコード（2m、1 本）

- 光デジタルコードは折り曲げないでください。断線の原因となります。

LVT2207-001B

すべての接続が終わるまで、電源プラグをコンセントに差し込まないでください。電源プラグをコンセントから抜くときは、その前に [電源 ⏻/I] を押して電源を切り、[STANDBY] ランプが点灯するまでお待ちください。

アンテナ、テレビ、スピーカーと接続する

テレビを接続する

コンポジットまたはHDMI対応のテレビで、動画や静止画像をご覧いただけます。
HDMIのほうがコンポジットよりも高品位な映像をお楽しみいただけます。

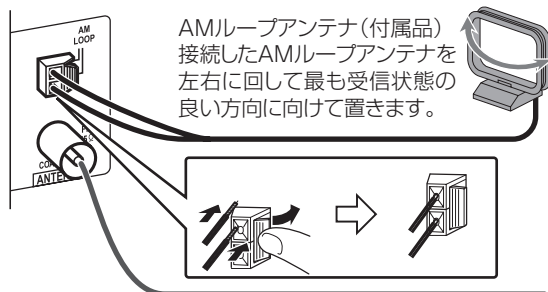
● 重要

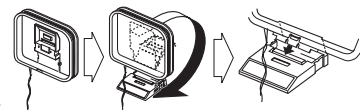
- XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150（DVDプレイヤー）とテレビ（またはモニター）は直接接続してください。ビデオデッキなどを経由して接続すると再生画像が乱れることがあります。
- 本機のDVDプレーヤーとビデオデッキ内蔵テレビ（テレビデオ）をつないだときも、再生中に画像が乱れることがあります。

お知らせ

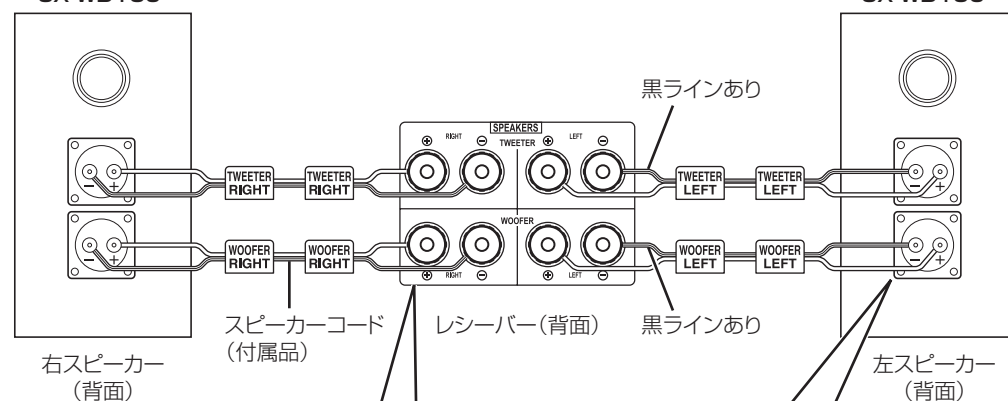
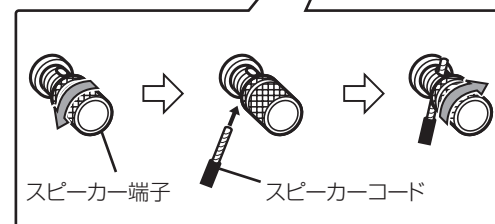
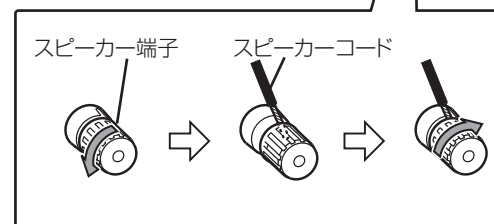
- HDMI対応テレビの接続中に映像が乱れるときは、DVDプレーヤーの電源を入れ直してください。
- HDCP対応モニターも、[HDMI]端子に接続できます。

アンテナを接続する

アンテナは、一般に窓の近くに設置するほうが良好に受信できます。

FM簡易型アンテナ（付属品）
最も受信状態の良い位置と方向にまっすぐ伸ばしてください。
付属のFM簡易型アンテナではうまく受信できないときは、7ページをご覧ください。

AMループアンテナを組み立てる

お知らせ

- AM ループアンテナは、アンテナ線が枠に巻かれた状態のままお使いください。枠からはずすとアンテナの効果がなくなり、感度が悪くなります。

スピーカーを接続する

ご注意

- スピーカーコードの接続を間違えると、故障の原因となりますので、左図のとおり正しく接続してください。
- （ブラウン管テレビをお使いの場合）本機のスピーカーは防磁設計（JEITA準拠）になっておりますが、設置方法によってはテレビに色ムラを生ずることがあります。
  次の点にご注意ください。
  1. 必ずテレビの主電源スイッチを切ってから設置してください。
  2. テレビの種類によって万一、色ムラが生じたときはテレビとスピーカーを十分に離してください。
  3. テレビの主電源スイッチは、切ってから30分程度待ってから入れてください。

お知らせ

- SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150以外のスピーカーを使うときは、レシーバーの[WOOFER]端子に接続し、アンプの設定を「2ch-AMP MODE」にしてください。（12ページをご覧ください。）
- SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150は、RX-A250/RX-A200/RX-A150-N/RX-A150専用です。他の機器に接続すると、故障の原因になります。
- 別売りのスピーカースタンドLS-EXA25をお使いいただくと、より良い音質でお楽しみいただけます。

レシーバーと DVD プレーヤーを接続する

お知らせ

下のイラストのようにすべての付属コード（光デジタルコード・オーディオコード・シンクロコード）を正しく接続してください。接続されていないと、K2 および 3D フォニックの機能が正しく働きません。

*1　付属の光デジタルコードは、[DIGITAL OUT] 端子のどちらでも接続できます。
*2　付属のシンクロコードは、[SYNCHRO] 端子のどちらでも接続できます。

他の機器と接続する

デコーダー内蔵アンプ

入力

光デジタルコード
（市販品）

カセットレコーダーなどの
アナログオーディオ出力機器*1

出力

*1　フォノイコライザーアンプが内蔵されていないレコードプレーヤーと接続する場合は、アンプとの間にフォノイコライザーアンプ（市販品）が必要です。

XV-A250/XV-A200/
XV-A150-N/XV-A150
（DVDプレーヤー）

iPod用ドックAC-RS5
（別売り）を接続します

オーディオコード（市販品）

出力

PCM/STREAM
DIGITAL OUT
RIGHT
LEFT
ANALOG OUT
VIDEO OUT
HDMI
MONITOR OUT
SYNCHRO

入力

EXT PORT
SUBWOOFER OUT
SPEAKERS
TWEETER
WOOFER
AM LOOP
FM 75Ω
COAXIAL
ANTENNA
DVD IN
DIGITAL IN
PCM
DVD
LINE
LINE IN
LINE OUT
SYNCHRO

出力

RX-A250/RX-A200/
RX-A150-N/RX-A150（レシーバー）

オーディオコード（市販品）

入力

光デジタルコード
（市販品）

入力

アンプ内蔵サブウーファー

出力

出力

入力

カセットレコーダーなどの
アナログオーディオ入力機器*1

CSチューナー

オーディオコード（市販品）

レシーバー前面

ヘッドホン出力

PHONES

AUDIO IN

入力

ステレオミニプラグコード
（市販品）

出力

ステレオミニプラグ付きの
ヘッドホン（市販品）

デジタルオーディオ
プレーヤーなど

ご注意 — 本機を設置するときは

本機の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。特に次のことに注意してください。

- あお向けや横倒し、逆さまにしない
- 本箱、押入れなど風通しの悪い狭い所に押し込まない
- テーブルクロス、新聞、カーテンなどで通風孔をふさがない
- 本や雑誌などをのせない
- じゅうたんや布団の上に置かない

前面

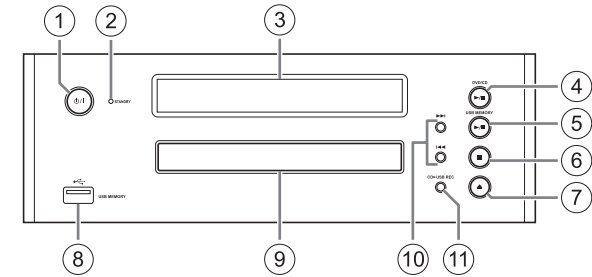
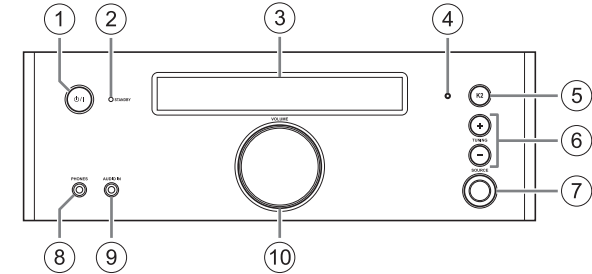
側面

表示窓の表示

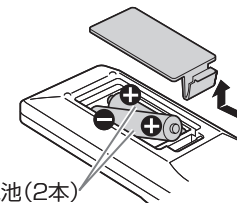
*はレシーバーの表示窓に表示されます。そのほかはDVDプレーヤーの表示窓に表示されます。

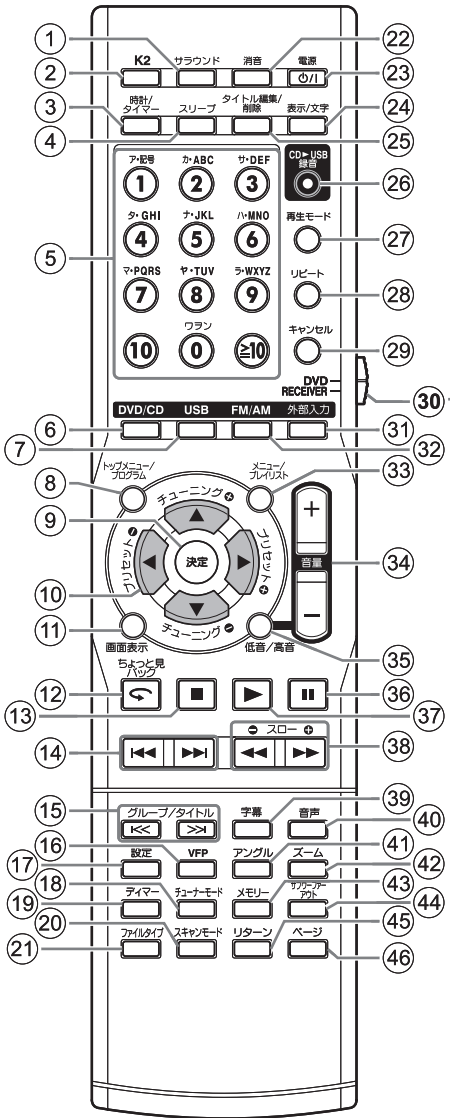
① VCD、SVCD、CD または DVD がソースのときに点灯します。
② HDMI 映像信号が出力しているときに点灯します。
③ 録音が始まるときに点灯します。
④ 3D フォニックが有効なときに点灯します。
⑤ DVD オーディオにボーナスグループがあるときに点灯します。
⑥ DVD オーディオに静止画（ブラウザブルスチルピクチャー）があるときに点灯します。
⑦ アンプ設定が「2ch-AMP MODE」のときに点灯します。
⑧ 選択中のグループ、タイトル、オリジナルプログラム、プレイリスト、トラック、チャプターの番号を示します。
⑨ プログラム再生またはランダム再生が有効なときに点灯します。
⑩ リピート再生が有効なときに点灯します。
⑪ FM ステレオ放送信号を十分な強さで受信しているときに点灯します。
⑫ FM 放送をモノラル受信しているときに点灯します。
⑬ 再生タイマーが有効なときに点灯します。
⑭ スリープタイマーが有効なときに点灯します。

各部の説明

● DVD プレーヤー

①	DVD プレーヤーの電源を入れます。	⑦	ディスクトレイを開閉します。■ と同時に押すことにより、ディスクの取り出しをロックします。（ロックの解除→ 10 ページ）
②	DVD プレーヤーの電源が入ると消灯します。		
③	表示窓（左記の「表示窓の表示」をご覧ください。）	⑧	USB 機器を接続します。
④	ディスクをソースとして選びます。ディスクを再生または一時停止します。	⑨	ディスクトレイ
⑤	USB 機器をソースとして選びます。USB 機器を再生または一時停止します。	⑩	チャプター、トラック、ファイルを頭出しします。
⑥	再生を停止します。▲ と同時に押すことにより、ディスクの取り出しをロックします。（ロックの解除→ 10 ページ）	⑪	CD から USB 機器への録音を始めます。

● レシーバー

①	レシーバーの電源を入れます。	⑥	ラジオの周波数を選びます。
②	レシーバーの電源が入ると消灯します。	⑦	ソースを切り換えます。
③	表示窓（左記の「表示窓の表示」をご覧ください。）	⑧	ステレオミニプラグ付きのヘッドホン（市販品）を接続します。
④	K2 機能が働いているときに点灯します。	⑨	デジタルオーディオプレーヤーまたはその他のオーディオ機器を接続します。
⑤	K2 機能を操作します。	⑩	音量を調節します。

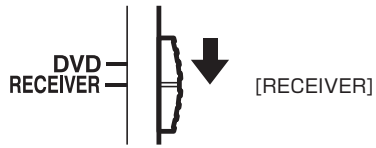
リモコンに電池を入れる

- 操作範囲が狭くなったり、本体に近づけないと操作できなくなったときは、新しい乾電池と交換してください。

操作する前に、下の表にしたがって、リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側（DVD RECEIVER ↓）または [DVD] 側（DVD RECEIVER ↑）にしてください。

	主な機能	リモコンモード切換スイッチ（㉚）の位置	参照ページ
①	3D フォニックを操作します。	[DVD] または [RECEIVER]	6
②	K2 機能を操作します。		6
③	時計または再生タイマーを設定します。	[RECEIVER]	6、12
④	スリープタイマーを設定します。		12
⑤	トラック番号、グループ番号、そのほか各種の設定値を選びます。トラックやグループのタイトル編集に使う文字や番号を選びます。 5 を選ぶときは、[5] を押す 15 を選ぶときは、[≧ 10] → [1] → [5] を押す 150 を選ぶときは、[≧ 10] → [≧ 10] → [1] → [5] → [0] を押す	[DVD] または [RECEIVER]（機能によりどちらかを選択）	7-12
⑥	ディスクをソースとして選びます。	[DVD] または [RECEIVER]	6、8、11、12
⑦	USB 機器をソースとして選びます。		8、11
⑧	ディスクのトップメニューまたはオリジナルプログラムを選びます。	[DVD]	8
⑨	選んだ設定を決定します。	[DVD] または [RECEIVER]	6-13
⑩	ラジオの周波数、放送局のプリセット、そのほか各種の設定を選びます。		5-13
	MPEG1/MPEG2 ファイルの再生中、◄ または ► を押すごとに、30 秒または 5 分の間隔で前後に移動します。（間隔の長さは、前後の間隔によって異なります。）	[DVD]	—
⑪	ステータスバーまたはメニューバーを表示します。		10
⑫	ディスクの再生中、10 秒前に戻します。		—
⑬	ディスク / ファイルの再生を停止します。		6、8、10、11、13
⑭	チャプター、トラック、ファイルを頭出しします。		8、11
⑮	タイトル、グループを頭出しします。		8、10
⑯	画質（VFP）を調節します。		9
⑰	各種設定画面を表示して、お買い上げ時の設定を変更します。		13
⑱	FM 放送の受信をモノラルまたはステレオに変更します。	[RECEIVER]	7
	AM 放送の受信中、雑音を減らします。		7
⑲	表示の明るさを切り換えます。	[DVD] または [RECEIVER]	6
⑳	映像信号方式を選びます。	[DVD]	6
㉑	ファイルタイプを選びます。		8
㉒	一時的に消音します。	[RECEIVER]	—
㉓	レシーバーまたは DVD プレーヤーの電源を入れます。	[DVD] または [RECEIVER]	—

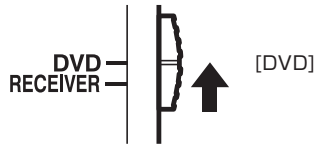
	主な機能	リモコンモード切換スイッチ（㉚）の位置	参照ページ
㉔	DVD プレーヤーの表示を変更して、ディスクやファイルの状態を確かめます。	[DVD]	8
	レシーバーの表示を変更して、時刻を確かめます。	[RECEIVER]	6
	トラックやグループのタイトル編集に使う文字タイプを変更します。	[DVD]	11
㉕	USB 機器内の音楽トラックやグループを編集します。		11
㉖	CD から USB 機器への録音を始めます。		11
㉗	プログラム再生またはランダム再生を選びます。		9
㉘	リピート再生を選びます。		9
㉙	各種の設定を取り消します。	[DVD] または [RECEIVER]	6、9、11、12
㉚	**リモコンモードを選びます。**	—	—
㉛	外部機器をソースとして選びます。	[DVD] または [RECEIVER]	12
㉜	ラジオ放送をソースとして選びます。		7
㉝	ディスクのメニューまたはプレイリストを選びます。	[DVD]	8
㉞	音量を調節します。	[DVD] または [RECEIVER]	6
㉟	高低音のレベルを調整します。		6
㊱	ディスク / ファイルを一時停止します。 画像を 1 コマずつ送ります。	[DVD]	8
㊲	ディスク / ファイルの再生を始めます。		8、9、13
㊳	再生中、早送りまたは早戻しします。一時停止したディスクをスローモーション再生します。		8
㊴	字幕言語を選びます。		9
㊵	音声言語を選びます。		9
㊶	アングル（角度）を選びます。		9
㊷	画像を拡大します。		9
㊸	ラジオ放送局を記憶（プリセット）します。	[RECEIVER]	7
	外部機器からの音声入力レベルを選びます。		12
	レシーバーと DVD プレーヤーの接続を同期させます。		14
㊹	外部サブウーファーへの出力をオン / オフします。	[DVD] または [RECEIVER]	12
㊺	VCD または SVCD の再生中、1 つ上の階層に移動します。	[DVD]	—
㊻	DVD オーディオの再生中、静止画（ブラウザブルスチルピクチャー）を変更します。		10

電源を入れる / 切る

レシーバーの電源を入れる / 切る

1 リモコンモード切換スイッチを[RECEIVER]側にする

2 [電源 ⏻/I] を押す
- レシーバーの電源が入り、[STANDBY] ランプが消灯します。
- レシーバーの電源を切るときは、[電源 ⏻/I] をもう一度押してください。

DVD プレーヤーの電源を入れる / 切る

1 リモコンモード切換スイッチを [DVD] 側にする

2 [電源 ⏻/I] を押す
- DVD プレーヤーの電源が入り、[STANDBY] ランプが消灯します。
- DVD プレーヤーの電源を切るときは [電源 ⏻/I] をもう一度押してください。

映像信号方式を設定する

お使いのテレビに合わせて映像信号方式を選んでください。

1 電源を入れる

2 リモコンモード切換スイッチを [DVD] 側にする

3 [DVD/CD] を押す
- ディスクが入っているとき、USB 機器が接続しているときは、■ を押して再生を停止してください。

4 [スキャンモード] を押す

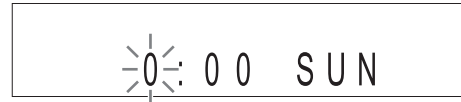
5 ◄ または ►（カーソル）をくり返し押して、テレビに合った映像信号方式を選ぶ
- [VIDEO OUT] 端子で接続するときは、「480i」（インターレース方式）または「480p」（プログレッシブ方式）から選べます。
- [HDMI] 端子で接続するときは、「AUTO」、「480p」、「720p」、「1080i」または「1080p」から選べます。通常は「AUTO」でお使いください。

お知らせ
- [VIDEO OUT] 端子と [HDMI] 端子を両方接続すると、HDMI 接続の選択項目のみ選べます。

6 [決定] を押す

時計を設定する

1 リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にする

2 [時計 / タイマー] を押して、レシーバーの表示窓に時計を表示させる

3 ◄ または ►（カーソル）と [決定] を使って、「時」、「分」、「曜日」を合わせる
- 合わせた「分」の 0 秒から時計が動き始めます。

お知らせ
- 操作の途中で、[キャンセル] を押すと前の手順に戻ることができ、[時計 / タイマー] を押すと操作を中止することができます。
- 時計を合わせ直すときは、[時計 / タイマ] ーをくり返し押して、時計を表示させてください。続きは手順 3 と同じです。
- 時計を表示するときは、リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にして、[表示 / 文字] をくり返し押してください。
- 月に1分程度のズレを生じます。
- レシーバーの電源コードをコンセントから抜いたときは、時計の設定は取り消されます。

表示設定

表示の明るさを切り換える

1 レシーバー/DVDプレーヤーの電源が入っているときにリモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] または [DVD] 側にする

2 [ディマー] をくり返し押す
- [ディマー] を押すごとに、表示窓で「DIMMER 1」、「DIMMER 2」、「DIMMER AUTO」、「DIMMER OFF」に切り換わります。
- 「DIMMER AUTO」を選ぶと、映像再生中に、表示窓が自動的に暗くなります。

レシーバーの表示を消灯する

1 レシーバーの電源が切れているときにリモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にする

2 [ディマー] をくり返し押す
- [ディマー] を押すごとに、レシーバーの表示窓で「DISPLAY ON」または「DISPLAY OFF」に切り換わります。

音質を調整する

高低音のレベルを調節する

1 [高音 / 低音] をくり返し押して、レシーバーの表示窓で「BASS」または「TREBLE」を選ぶ

2 [音量 +] または [音量 -] をくり返し押して、音質を調節する
- 調節範囲は、-5 から +5 です。

音質を変える（K2 機能 /3D フォニック）

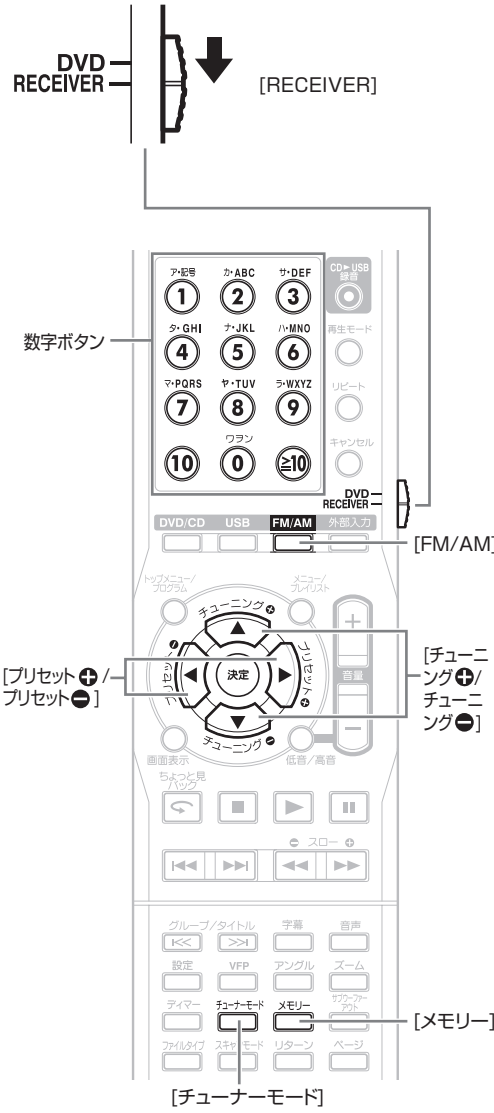
- K2 機能は再生音質を向上します。もとの周波数帯を自動的に検知して、特定の帯域に拡張します。
- 3D フォニックは擬似的なサラウンド効果があります。ディスク / ファイル再生に有効な機能です。

[K2] または [サラウンド] をくり返し押して、お好みの音響効果を選ぶ

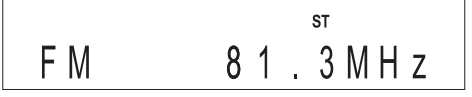
[K2] の選択項目	機能
「K2 Mode 1」	圧縮されていないデジタル音声信号（リニア PCM）を再生するときに最適です。
「K2 Mode 2」	圧縮されたデジタル音声信号（ドルビーデジタル、DTS、MP3 または WMA）を再生するときに最適です。
「K2 OFF」	K2 機能を解除します。

[サラウンド] の選択項目	機能
「ACTION」	アクション映画やスポーツ番組など音の移動が激しいソフトに最適です。
「DRAMA」	包まれるような自然な雰囲気によりリラックスして映画が楽しめます。
「THEATER」	劇場で映画を見ているような音響効果が楽しめます。
「3D PHONIC OFF」	3D フォニックを解除します。雑音が多いときや音が歪むときは、この項目にしてください。

お知らせ
- K2 機能が有効なときに 3D フォニックを有効にすると、K2 機能は自動的に解除されます。
- K2 および 3D フォニックの機能は、DVD プレーヤーの [DIGITAL OUT] 端子・[ANALOG OUT] 端子・[SYNCHRO] 端子のすべてが接続されていないと、正しく働きません。

ラジオをお使いになるときは、リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にしてください。

放送局を選ぶ

1 [FM/AM] をくり返し押して、レシーバーの表示窓で「FM」または「AM」を選ぶ

```
                ST
FM        81.3MHz
```

2 [チューニング ⊕] または [チューニング ⊖] をくり返し押して、放送局を選ぶ

- [チューニング ⊕] または [チューニング ⊖] を押し続けると、周波数が連続して変わります。

お知らせ

- FM ステレオ放送が雑音で聞きにくいとき、[チューナーモード] を押して、レシーバーの表示窓で「MONO」(モノラル)表示を点灯してください。モノラル受信は雑音をなくし、放送が聞きやすくなることがあります。ステレオ受信に戻るときは、もう一度 [チューナーモード] を押して、「ST」(ステレオ)表示を点灯させてください。
- AM 放送が聞きにくいとき、雑音を減らせます。[チューナーモード] をくり返し押すと、レシーバーの表示窓で「AM BEAT CUT1」から「AM BEAT CUT4」までのいずれかが数秒間表示され、雑音を減らします。一つひとつ選んでみて、最も受信状態のよいものにしてください。

放送局を自動で記憶させる(オートプリセット)

FM と AM それぞれに行います。

FM または AM を受信中に [メモリー] を 2 秒以上押す

- 受信できる放送局が自動で記憶され、その局のプリセット番号と受信周波数が表示されます。
- オートプリセットが終了すると、プリセット番号 1 に記憶された放送局が自動で受信されます。
- 受信できるすべての放送局が記憶されるか、プリセットできる最大数まで記憶されると、自動で終了します。
- 雑音の多い放送局も記憶されることがあります。

放送局を手動で記憶させる(マニュアルプリセット)

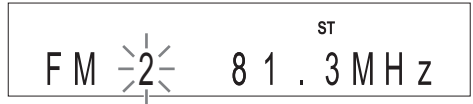
放送局を 1 つずつ記憶させます。

1 記憶させたい放送局を選ぶ

- 左記の「放送局を選ぶ」をご覧ください。
- FM ステレオ放送のステレオまたはモノラル受信も記憶されます。

2 [メモリー] を押す

- レシーバーの表示窓のプリセット番号が点滅します。

3 点滅中に数字ボタンを使って、記憶させたい番号を選ぶ

- [プリセット ⊕]、[プリセット ⊖] でも選べます。

4 [決定] を押す

- レシーバーの表示窓に「STORED」と表示され、選んだ放送局が記憶されます。「STORED」が表示されない場合は、手順 2 からやり直してください。

お知らせ

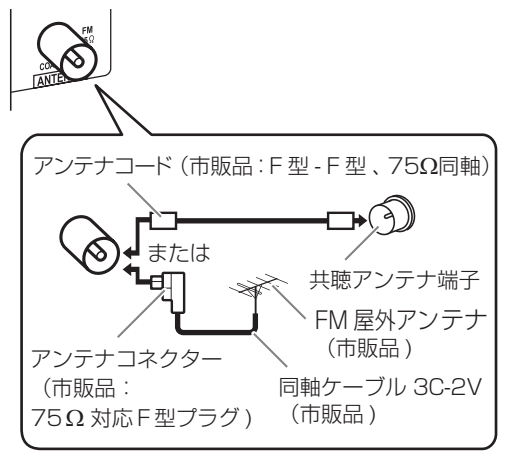
- FM を最大 30 局、AM を最大 15 局まで、それぞれ記憶させることができます。
- オートプリセットすると、前に記憶した放送局はすべて消えます。
- 同じプリセット番号に新しい放送局を記憶させると、前の放送局の記憶は消えます。

プリセットした放送局を呼び出す

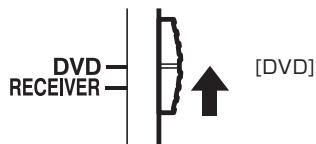
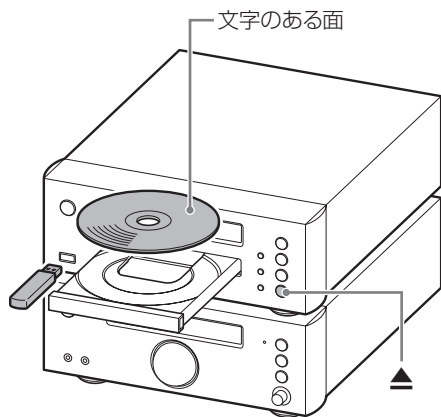
FM または AM を受信中に数字ボタン、[プリセット ⊕] または [プリセット ⊖] を押して、呼び出したい放送局のプリセット番号を選ぶ

- 数字ボタンの入力方法
  5 を選ぶときは : [5]
  15 を選ぶときは : [≧ 10] → [1] → [5]

付属の FM 簡易型アンテナではうまく受信できないとき

マンションなどの共聴アンテナ端子や FM 屋外アンテナ(市販品)などをご利用ください。

お知らせ

- 付属品以外のアンテナを接続する際の詳細については、アンテナおよびアンテナコネクターの取扱説明書を参照してください。
- アンテナの設置場所を決めるときは、実際の放送を聞きながら行なってください。
- ケーブルテレビ会社と契約しているマンションの共聴アンテナ端子にレシーバー本体の [FM] 端子を接続している場合は、FM 放送局の周波数が通常と異なることがあります。詳細は、ご契約のケーブルテレビ会社へお問い合わせください。

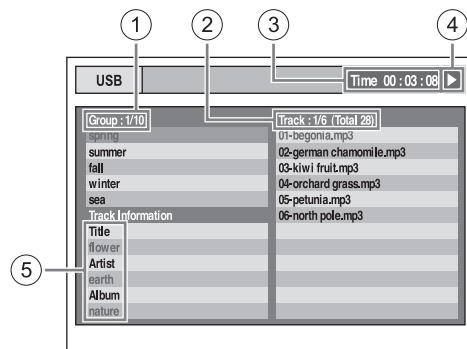
ディスク、USB 機器をお使いになるときは、リモコンモード切換スイッチを [DVD] 側にしてください。

再生できるディスク / ファイル、再生できるデータ数についての制限は 15 ページをご覧ください。

1
（ディスクのとき）
DVD プレーヤーの ▲ を押して
ディスクトレイを開け、ディスクを置く

（USB 機器のとき）
USB 機器を接続する

お知らせ
- 本機の [USB MEMORY] 端子はパソコンと接続できません。
- USB コードで接続するときは、長さ 1m 以下の USB2.0 コードをお使いください。
- 接続するときに静電気が生じると、USB 機器が正しく再生されないことがあります。このようなときは、一度 USB 機器を取り外し、本機と USB 機器の電源を入れ直してください。
- ビクター製デジタルオーディオプレーヤー XA-M10、XA-M20、XA-M40、XA-HD500 は接続できません。

2
（ディスクのとき）
[DVD/CD] を押す

（USB 機器のとき）
[USB] を押す
- メニュー画面がテレビに表示されます。

3 ■ を押して再生を停止する。

① 現在のグループ番号と総グループ数
② 現在のトラック（ファイル）番号と現在のグループに含まれる総トラック数（総ファイル数）/ 総トラック数（総ファイル数）
③ 再生経過時間
④ 再生状態
⑤ タグ情報（MP3/WMA ファイルのみ）
- 漢字、ひらがなは表示しません。

4 ▲、▼、◄ または ►（カーソル）を押してグループとトラックを選ぶ

5 ►（再生）を押す

お知らせ
- USB 機器を安全に取り外すために、取り外す前に DVD プレーヤーの電源を切ってください。

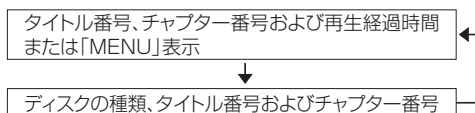
テレビに表示されるマーク（オンスクリーンガイド）
- ▶ ：再生
- ⏸ ：一時停止
- ⏪⏩ ：早送り / 早戻し
- ◀▶ ：スローモーション再生（逆方向 / 順方向）
- ：複数の音声あり（9 ページをご覧ください。）
- ：複数の字幕あり（9 ページをご覧ください。）
- ：複数のアングルあり（9 ページをご覧ください。）
- ⃠ ：そのディスク / ファイルでは、行なった操作が禁止されています。

ファイルタイプを選ぶ
1枚のディスクまたは1つの USB 機器に異なる種類のファイル（オーディオ / 静止画 / ビデオ）が複数記録されているときに、どの種類のファイルを再生するのかを選びます。

停止中に [ファイルタイプ] をくり返し押す
- [ファイルタイプ] を押すごとに、ソースが「AUDIO」、「PICTURE」または「VIDEO」に切り換わります。

DVD プレーヤーの表示を切り換える
再生中に [表示 / 文字] をくり返し押す
- [表示 / 文字] を押すごとに、表示が切り換わります。

例：DVD ビデオ再生中の表示

タイトル番号、チャプター番号および再生経過時間または「MENU」表示
↓
ディスクの種類、タイトル番号およびチャプター番号

停止する
■ を押す

一時停止する
再生中に ⏸ を押す
- ►（再生）を押すと通常の再生に戻ります。

早送り / 早戻し
再生中に ◄◄ または ►► を押す
- ◄◄ または ►► を押すごとに、スピードが変わります。
- ►（再生）を押すと通常のスピードに戻ります。

タイトル / グループを頭出しする
再生中に [グループ / タイトル ⧏◁] または [グループ / タイトル ▷⧐] を押す

チャプター / トラック / ファイルを頭出しする
再生中に ⏮ または ⏭ をくり返し押す

数字ボタンでチャプター / トラックを選ぶ
再生中に数字ボタンを押してチャプター番号またはトラック番号を選ぶ

メニューから選ぶ
1 停止中または再生中に [トップメニュー / プログラム] または [メニュー / プレイリスト] を押す
- メニュー画面がテレビに表示されます。

2 ▲、▼、◄ または ►（カーソル）を押してチャプターの選択メニューを選ぶ

3 [決定] を押す

4 ▲、▼、◄ または ►（カーソル）を押してチャプターを選ぶ

5 [決定] を押す

お知らせ
- 本書では、主に DVD ビデオ、CD、MP3 ファイル、WMA ファイルを使った操作説明をしています。ディスクやファイルによっては働かない機能があります。テレビ画面に⃠マークが表示されているとき、その機能は使えません。
- ディスク / ファイル制作者の意図により、ここでの説明と異なる操作結果となることもあります。
- 本書の説明とは異なる操作でも働く機能があります。

お好みの順番で再生する(プログラム再生)

最大 99 のチャプター / トラックをお好みの順番でプログラムできます。同じチャプター / トラックを何度もプログラムできます。MP3、WMA、WAV ファイルについては、ディスクのみの対応です。USB 機器は対応していません。

1 停止中に [再生モード] をくり返し押して、DVD プレーヤーの表示窓に「PRGM」表示を点灯させる

例:DVD ビデオのときのテレビ画面(プログラム画面)

プログラム

No.	Group/Title	Track/Chapter
1		
2		
3		
4		
5		

2 数字ボタンでトラック / チャプターをプログラムする

- DVD ビデオのときは、最初にタイトル番号を選び、次にチャプター番号を選びます。
- CD のときは、トラック番号を選びます。
- MP3、WMA、WAV ファイルのときは、最初にグループ番号を選び、次にトラック番号を選びます。

例:DVD ビデオのときのテレビ画面(プログラム画面)

プログラム

No.	Group/Title	Track/Chapter
1	1	3
2		
3		
4		
5		

お知らせ

- 数字ボタンを使う代わりに、テレビ画面の「Track/Chapter」の列で [決定] を押すと「ALL」が表示され、そのタイトル / グループに含まれるすべてのチャプター / トラックがプログラムされます。(DVD ビデオ、MP3、WMA またはその他のファイルのみ)
- [キャンセル] をくり返し押すと、プログラムされたトラックをリストの最下からひとつずつ削除することができます。
- [キャンセル] を押し続けると、プログラムを一度にまとめて削除することができます。
- プログラム再生を解除するときは、[再生モード] をくり返し押して、DVD プレーヤーの表示窓の「PRGM」表示および「RND」表示を消してください。

3 ►(再生)を押す

無作為な順番で再生する(ランダム再生)

MP3、WMA、WAV ファイルについては、ディスクのみの対応です。USB 機器は対応していません。

1 停止中に [再生モード] をくり返し押して、DVD プレーヤーの表示窓に「RND」表示を点灯させる

2 ►(再生)を押す

お知らせ

- ランダム再生を解除するときは、[再生モード] をくり返し押して、DVD プレーヤーの表示窓の「PRGM」表示および「RND」表示を消してください。

くり返し再生する(リピート再生)

再生中に [リピート] を押す

- [リピート] を押すごとに、リピートの種類が切り換わります。

DVD プレーヤーの表示窓		動作
表示	メイン表示	
⊂	REPEAT CHAP*	現在のチャプターをリピート
	REPEAT TRACK*	現在のトラックをリピート
GR ⊂	REPEAT GROUP	現在のグループをリピート
	REPEAT PG	現在のオリジナルプログラムをリピート
	REPEAT PL	現在のプレイリストをリピート
⊂ ALL	REPEAT ALL	すべてのチャプター / トラックをリピート
	REPEAT TITLE	現在のタイトルをリピート
—	REPEAT OFF	リピートを解除

* プログラム再生またはランダム再生を設定すると「REPEAT STEP」と表示されます。

音声 / 字幕 / アングル(角度)を切り換える

DVD ビデオまたはその他のディスクのみの対応です。

再生中に次の表中から使いたい機能のボタンを押す

ボタン	機能	テレビに表示されるオンスクリーンガイド
[音声]	音声言語	
[字幕]	字幕言語	
[アングル]	アングル	

- [字幕] をくり返し押すと、字幕の表示 / 非表示が切り換わります。言語を選ぶときは、▲ または ▼(カーソル)をくり返し押してください。

画像を拡大する(ズーム)

1 再生中に [ズーム] をくり返し押す

- [ズーム] を押すごとに倍率が切り換わります。

2 ▲、▼、◄ または ►(カーソル)を押して、見たい部分を選ぶ

- 通常の再生に戻したいときは、手順 1 で「ZOOM OFF」を選びます。

画質を調節する(VFP)

[VIDEO OUT] 端子からの映像を調節します。[HDMI] 端子からの映像は調節できません。

1 再生中または一時停止中に [VFP] を押す

- 現在の設定がテレビ画面に表示されます。

例 : VFP モードのテレビ画面

選択されているVFPモード

ノーマル

ガンマ	0
明るさ	0
コントラスト	0
色のこさ	0
色合い	0
シャープネス	0

2 ◄ または ►(カーソル)をくり返し押して、VFP (Video Fine Processor) モードを選ぶ

- 通常は「ノーマル」を選びます。(調節はできません)手順7へ。
- 「シネマ」は、照明を落とした部屋で映画ソフトを鑑賞するのに向いています。(調節はできません)手順7へ。
- 「ユーザー 1」、「ユーザー 2」は、お好みの画質に調節することができます。手順 3 へ。

3 ▲ または ▼(カーソル)をくり返し押して、調節したい項目を選ぶ

- 「ガンマ」は、画面の暗い部分と明るい部分の明るさを変えずに、中間の明るさを調節できます。(調節範囲 : − 3 ～+ 3)
- 「明るさ」は、画面の明るさを調節します。(調節範囲 : − 8 ～+ 8)
- 「コントラスト」は、画面のコントラストを調節します。(調節範囲 : −7 ～+7)
- 「色のこさ」は、画面の色の濃さを調節します。(調節範囲 : −7 ～+7)
- 「色合い」は、画面の色合いを調節します。(調節範囲 : −7 ～+7)
- 「シャープネス」は、画面のシャープさを調節します。(調節範囲 : − 8 ～+ 8)

4 [決定] を押す

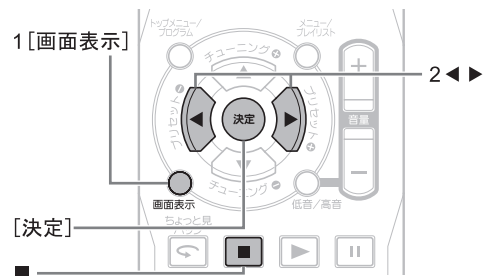
例 :「ガンマ」選択時のテレビ画面

5 ▲ または ▼(カーソル)を押して数値を変更する

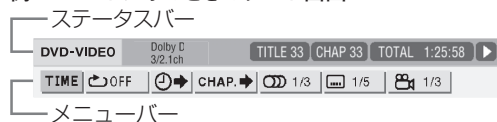
6 [決定] を押す

- 他の項目も調節したいときは、手順 3 に戻ります。

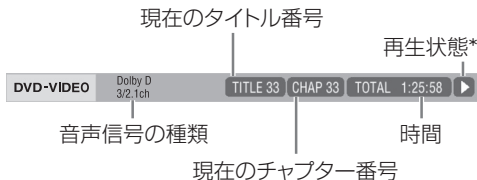
7 [VFP] を押す

ディスク / ファイル再生の便利な機能（続き）

メニューバーで操作する

1 再生中に［画面表示］を 2 回押す

例：DVD ビデオのときのテレビ画面

2 ◄ または ►（カーソル）を押して操作したい項目を選び、［決定］を押す
- メニューバーを消したいときは［画面表示］を押します。

ステータスバーに表示される情報

例：DVD ビデオのときのステータスバー

お知らせ

* 再生状態を示すマークは、オンスクリーンガイドのマークと同じ意味です。（8 ページをご覧ください。）

機能一覧

項目	説明
TIME 時間表示選択	［決定］を押すごとに項目が切り換わります。 TOTAL：タイトル / グループ（DVD ビデオ）、ディスク（CD）の経過時間 T.REM：タイトル / グループ（DVD ビデオ）、ディスク（CD）の残り時間 TIME：チャプター / トラックの経過時間 REM：チャプター / トラックの残り時間
リピートモード	リピート再生は、9 ページをご覧ください。指定した範囲をくり返し再生する（A-B リピート再生）するときは、再生中に、くりかえす範囲の始点で［決定］を押して、終点でもう一度［決定］を押します。 **お知らせ** • タイトルやトラックをまたがる A-B リピート再生はできません。 • A-B リピートを解除するときは、次のいずれかを行います。 (1) ■ を押す (2) OFF を選ぶ (3) A-B を選んで［決定］を 2 回押す
タイムサーチ	時間を指定します（タイムサーチ）。再生中に、数字ボタンを押して時間を入力し、［決定］を押します。 例： 1 時間 23 分 45 秒： [1] → [2] → [3] → [4] → [5] 23 分 45 秒： 時間は 0 を押してください。 [0] → [2] → [3] → [4] → [5]
CHAP. チャプターサーチ	チャプターを選びます。数字ボタンを押してチャプター番号を入力し、［決定］を押します。 例： 5：[5] 24：[2] → [4]
音声言語	9 ページをご覧ください。
字幕言語	
1/ 3 アングル	
PAGE -/- ページ切り換え	右記の「静止画を見る（B.S.P.)」をご覧ください。

DVD オーディオ固有の機能

ボーナスグループを再生する

1 再生中で、DVD プレーヤーの表示窓に「BONUS」表示が点灯しているときに［グループ / タイトル>>I］をくり返し押してボーナスグループを選ぶ
- テレビ画面と DVD プレーヤーの表示窓に「KEY_ _ _ _」と表示されます。

2 数字ボタンを押して暗証番号（4 ケタ）を入力する
- 暗証番号を知る方法は、ディスクによって異なります。

3［決定］を押す
- 正しい暗証番号を入力すると、「BONUS」表示が消え、ボーナスグループの再生が始まります。
- 暗証番号を間違えたときは、もう一度、入力します。

静止画を見る（B.S.P.）

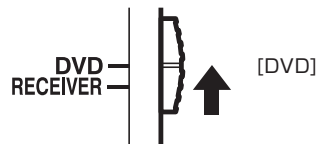
1 再生中で、DVD プレーヤーの表示窓に「B.S.P.」表示が点灯しているときに［ページ］を押す
- ［ページ］を押すごとに、静止画が切り換わります。
- ▲ または ▼（カーソル）でも選べます。

2［決定］を押すか、そのまま数秒間待つ
- メニューバーで操作することもできます。（左記をご覧ください。）

ディスクの取り出しをロックする（チャイルドロック）

ディスクトレイに入れたディスクが取り出せないようにすることができます。

電源が切れているときに DVD プレーヤー本体の ■ を押し続けながら ▲ を押し続ける
- DVD プレーヤーの表示窓に「LOCKED」と表示されます。
- もう一度、■ を押し続けながら ▲ を押し続けると、チャイルドロックが解除され、「UNLOCKED」と表示されます。

ディスク、USB 機器をお使いになるときは、リモコンモード切換スイッチを [DVD] 側にしてください。

ご注意

- トラックはデジタル録音され、MP3 ファイル（128kbps）に変換されます。

お知らせ

- この章では、「ファイル」を「トラック」、「フォルダー」を「グループ」と総称しています。

全曲を録音する

1 ディスクトレイに CD を置いて、USB 機器を接続する

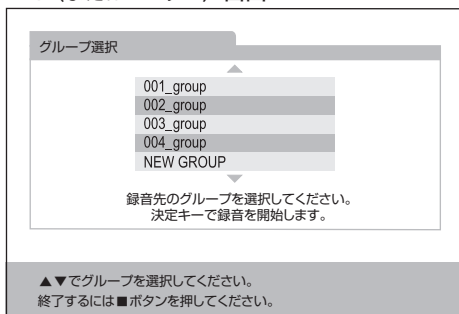
2 [DVD/CD] を押す

3 ■ を押して再生を停止する

4 [CD ► USB 録音] を押す

5 ▲ または ▼（カーソル）をくり返し押して、録音先のグループを選ぶ

- |◀◀ または ▶▶| をくり返し押して、選ぶこともできます。

テレビ（またはモニター）画面

- DVD プレーヤーの表示窓で「NEW GROUP」を選ぶと、新しいグループが作れます。
- 選んだグループにお好みの名前を付けてから録音することもできます。右記「トラック / グループの名前を変更する」の手順 4 から 7 をご覧ください。

6 [決定] を押して録音を開始する

- [CD ► USB 録音] を押しても、録音を開始できます。

お知らせ

- 録音できるデータ数について
  最大トラック数：4000
  但し、グループとトラックには下記制限があります。
  - 1 グループあたり、最大 999 トラックまで録音できます。
  - グループは最大 99 まで作成できます。
  但し、最大トラック数が 4000 のため、これを超えるとグループが 99 に達していなくても作成することはできません。
- 音質を調節しても、録音音声には影響しません。
- 録音中に、K2 機能や 3D フォニック (6 ページ) は設定できません。
- 録音を開始すると、リピート再生は自動的に解除されます。

録音を停止する

■ を押す

曲を選んで録音する

1 録音したいトラックを再生する

2 左記「全曲を録音する」の手順 4 以降の操作で録音する

お好みの順番で録音する（プログラム録音）

1 録音したいトラックをプログラムする

- プログラムについては 9 ページの「お好みの順番で再生する」の手順 1、2 をご覧ください。

2 左記「全曲を録音する」の手順 4 以降の操作で録音する

トラック / グループを削除する

1 USB 機器を接続する

2 [USB] を押す

3 ■ を押して再生を停止する

4 ▲、▼、◄ または ►（カーソル）をくり返し押して、削除したいトラック / グループを選ぶ

5 [タイトル編集 / 削除] をくり返し押して、DVD プレーヤーの表示窓で「Track DELETE?」または「Group DELETE?」を選ぶ

6 [決定] を押す

7 [決定] を押してトラック / グループを削除する

- トラック / グループ削除を中止するときは、[キャンセル] を押します。

トラック / グループの名前を変更する

1 USB 機器を接続する

2 [USB] を押す

3 ■ を押して再生を停止する

4 ▲、▼、◄ または ►（カーソル）をくり返し押して、名前を変更したいトラック / グループを選ぶ

5 [タイトル編集 / 削除] をくり返し押して、DVD プレーヤーの表示窓で「Track TITLE?」または「Group TITLE?」を選ぶ

6 [決定] を押す

お知らせ

- ファイル名を変えられるのは、音声ファイルのみです。

7 文字を入力する

- 右記の「文字入力のしかた」をご覧ください。
- 名前の変更を中止するときは、■ を押します。

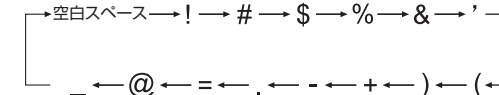
8 [決定] を押す

- トラック、グループの名前を変更すると曲順が変わることがあります。テレビ（またはモニター）に表示された曲順で再生します。

文字入力のしかた

次の表中のボタンを使う

ボタン	機能
[表示 / 文字]、▲/▼（カーソル）	文字の種類を「A」（大文字）、「a」（小文字）、「1」（数字）、「ア」（カタカナ）から選びます。
数字ボタン [1]	特殊文字、1、アイウエオを入力します。
数字ボタン [2] ～ [9] および [0]	大文字、小文字、数字、カタカナを入力します。ボタンごとに、いくつかの文字が割り当てられています。
◄/►（カーソル）	文字の入力位置を移動します。
[キャンセル]	文字を消去します。
■	文字の入力を中止します。

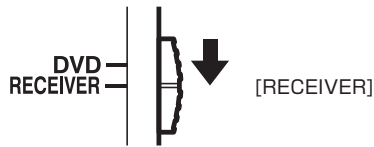
* 入力できる特殊文字
「A」または「a」を選んで、[1] をくり返し押すと、特殊文字を入力できます。

お知らせ

- トラック名に最大 24 文字、グループ名に最大 28 文字まで入力できます。

こんなメッセージが出たときは

- 「NO USB DEVICE」：USB 機器が接続されていません。または、USB 機器が本機に対応していません。
- 「CANNOT REC」：録音できません。
- 「DEVICE ERROR」：録音または編集できません。
- 「DEVICE FULL」「Track FULL」：USB 機器の容量がいっぱいです。
- 「WRITE PROTECT」：USB 機器がプロテクト（書込み禁止）されています。
- 「SCMS CANNOT COPY」：著作権保護された CD-R/CD-RW から録音しようとしています。
- 「PLEASE WAIT..」：録音中です。表示されている間は、操作できません。
- 「CANNOT EDIT」：名前が変更できません。
- 「NAME ERROR」：名前を入力していません。または、入力できない文字やすでに使われている名前を使っています。

外部機器の音声を聞く

外部機器の音声をお聞きになるときは、リモコンモード切換スイッチを［RECEIVER］側にしてください。

外部機器の音声を聞く

1 ［外部入力］をくり返し押して、レシーバーの表示窓でお好みの外部機器を選ぶ

- 「AUDIO IN」は、レシーバーの [AUDIO IN] 端子に接続している機器がソースとなります。
- 「LINE」は、レシーバーの [LINE IN] 端子に接続している機器がソースとなります。
- 「LINE DIGITAL」は、レシーバの [DIGITAL IN LINE] 端子に接続している機器がソースとなります。

2 接続している機器を再生する

お知らせ

- 外部機器を接続する前、取り外す前は、本機の音量を最小にしてください。

外部機器の音声入力レベルを調節する

[AUDIO IN] 端子から本機に入力する音声レベルを調節できます。

「AUDIO IN」がソースのときに［メモリー］をくり返し押す

- ［メモリー］を押すごとに、レシーバーの表示窓で音声レベルが 3 段階で切り換わります。

内蔵アンプを設定する

［サブウーファーアウト］を押し続ける

- ［サブウーファーアウト］を押し続けるごとに、レシーバーの表示窓で「Bi-AMP MODE」または「2ch-AMP MODE」に切り換わります。
- 本機のスピーカー（SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150）を使うときは、「Bi-AMP MODE」を選んでください。SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150 以外のスピーカーを使うときは、「2ch-AMP MODE」を選んでください。
- 2ch で接続するときは、レシーバーの [WOOFER] 端子にスピーカーを接続してください。（2 ページをご覧ください。）

外部のサブウーファーから音声を聞く

外部のアンプ内蔵サブウーファーを接続すると、より迫力のある重低音がお楽しみいただけます。詳しくは、サブウーファーの取扱説明書をご覧ください。

1 外部のサブウーファーを接続する

2 ［サブウーファーアウト］をくり返し押して、レシーバーの表示窓で「S WOOFER LOW」または「S WOOFER HIGH」を選ぶ

- 左右のスピーカーからの低音が自動で小さくなり、低音は主にサブウーファーで再生します。
- 「S WOOFER LOW」と「S WOOFER HIGH」は、出力レベルが異なります。

お知らせ

- サブウーファーを使わないときは、［サブウーファーアウト］をくり返し押して、「S WOOFER OFF」を選んでください。

XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 以外の外部機器を使う

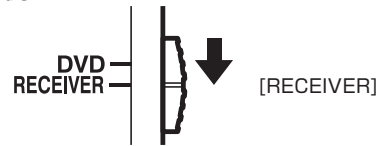
1 XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 以外の外部機器を接続する

2 [DVD/CD] をくり返し長押しして、レシーバーの表示窓で「DVD-DIGITAL」または「DVD-ANALOG」を選ぶ

お知らせ

- XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 を使うときは、[DVD/CD] をくり返し長押しして、レシーバーの表示窓で「DVD-AUTO」を選んでください。デジタル入力またはアナログ入力、どちらか適したほうが自動的に選ばれます。

タイマーを使う

リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にしてください。

再生タイマーを設定する

1 ［時計 / タイマー］を2回押す

2 ◄、►（カーソル）または数字ボタンおよび［決定］で、開始時刻（ON）と終了時刻（OFF）を設定する

3 ◄ または ►（カーソル）を押して「WEEKLY」または「ONCE」を選び、［決定］を押す

- 「ONCE」を選ぶと、1 回だけ動作します。
- 「WEEKLY」を選ぶと、毎週または毎日動作します。

4 ◄ または ►（カーソル）を押して動作させたい曜日を選び、［決定］を押す

- 「SUN」、「MON」、「TUE」、「WED」、「THU」、「FRI」、「SAT」、「SUN」、「MON → FRI」、「MON → SAT」または「EVERYDAY」を選べます。
- 「MON → FRI」を選ぶと、月曜日から金曜日まで動作します。
- 「MON → SAT」を選ぶと、月曜日から土曜日まで動作します。
- 「EVERYDAY」を選ぶと、毎日動作します。

5 ◄ または ►（カーソル）を押して再生したいソースを選び、［決定］を押す

- 「FM」または「AM」を選んだときは、◄、►（カーソル）または数字ボタンを押して聞きたい放送局のプリセット番号を選び、［決定］を押してください。
- ソースが「NO EXTERNAL」と表示されることがあります。これは、[EXT PORT] 端子に機器が接続されていないことを示しています。

6 ◄ または ►（カーソル）を押して再生する音量を選び、［決定］を押す

7 ⏻/I を押して、レシーバーの電源を切る

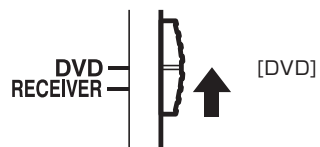
お知らせ

- 操作の途中で、［キャンセル］を押すと前の手順に戻ることができ、［時計 / タイマー］を押すと操作を中止することができます。
- 再生タイマーを取り消すときは、リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にして、［時計 / タイマー］を押してください。レシーバーの表示窓で「ON?［ケッテイ］」および「OFF?［キャンセル］」が点滅しますので、［キャンセル］を押してください。再生タイマーを再度有効にするときは、リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にして、［時計 / タイマー］、［決定］、⏻/I の順に押してください。
- レシーバーの電源コードをコンセントから抜いたときは、時計および再生タイマーの設定は取り消されます。

スリープタイマーを設定する

［スリープ］を押す

- ［スリープ］を押すごとに、時間表示が切り換わります。
- 10、20、30、60、90、120、150、180分のいずれかに設定できます。
- 設定した時間が経過すると自動的に電源が切れます。

リモコンモード切換スイッチを [DVD] 側にしてください。

基本操作

1 停止中に [設定] を押す
- 各種設定画面がテレビに表示されます。

2 ▲、▼、◄、►（カーソル）および [決定] を使って各種設定画面を操作する
- このあとはテレビ画面の説明にしたがって操作してください。
- [設定] をもう一度押すと終了します。

映像設定画面

設定項目	設定内容 （　がお買い上げ時の設定です）
TV タイプ	テレビに適した設定を選びます。 お知らせ • HDMI コードで DVD プレーヤーを 16：9 ワイドテレビに接続するときは、「16：9 ノーマル」にしてください。 **16：9 ノーマル：** 16：9の映像専用のワイドテレビ用。従来（4：3）の映像は左右に黒い帯が表示されます。 **16：9 オート：** 映像の縦横比を自動認識するワイドテレビ用。映像の縦横比に応じて表示されます。 **レターボックス：** 従来（4：3）のテレビ用。横長の映像は上下に黒い帯が表示されます。 **パンスキャン：** 従来（4：3）のテレビ用。横長の映像は左右が切り取られます。（ディスク / ファイルがパンスキャン非対応のときはレターボックス表示となります。）
映像ソース	映像ソースに適した設定を選びます。 **オート：** 素材のタイプ（ビデオ / フィルム）を自動的に判別します。 **フィルム：** フィルム素材またはプログレッシブスキャン方式で記録されたビデオ素材の映像に適しています。 **ビデオ：** ビデオ素材の映像に適しています。
スクリーンセーバー	スクリーンセーバーの**オン** / **オフ**を選びます。スクリーンセーバーは、静止画が表示されてから約 5 分操作がないときに動作します。
ファイルタイプ	**オーディオ**、**静止画**または**ビデオ**を選びます。（8 ページをご覧ください。）
HDMI DVI カラー	テレビを [HDMI] コードに接続したときの映像の見えかた（画質、色の濃さ、色あせ補正）を選びます。 **標準：** 通常はこれを選びます。 **強調：** 自動的に映像調節します。
HDMI 出力	出力信号に適した設定を選びます。 **オート：** 通常はこれを選びます。 **RGB：** 「オート」で映像が出ないときに選びます。出力信号が RGB になります。

言語設定画面

設定項目	設定内容 （　がお買い上げ時の設定です）
メニュー言語	DVD ビデオのメニューの言語を選びます。（日本語）
音声言語	DVD ビデオの音声の言語を選びます。（英語）
字幕言語	DVD ビデオの字幕の言語を選びます。（日本語）
画面表示言語	設定画面に表示される言語を選びます。（日本語）

音声設定画面

設定項目	設定内容 （　がお買い上げ時の設定です）
デジタル OUT	[DIGITAL OUT] 端子に接続する外部機器に合わせて、出力信号の種類を次から選べます。 **PCM のみ：** リニア PCM のみに対応している機器。 **DOLBY DIGITAL/PCM：** ドルビーデジタルデコーダーまたは同機能を持つ機器。 **ストリーム /PCM：** この項目は本機では使いません。 お知らせ • テレビが [HDMI] 端子に接続していて、「HDIM 音声出力」が「オン」のとき、「デジタル OUT」は無効です。
ダウンミックス	[DIGITAL OUT] 端子に接続する外部機器に合わせて、信号を切り換えます。「デジタル OUT」を「PCM のみ」にしているとき設定します。 **ドルビーサラウンド：** ドルビープロロジックデコーダー内蔵の機器。 **ステレオ：** 通常の機器。
D（ダイナミック）レンジコントロール	小音量で再生したとき、大きな音と小さな音の聞こえかたの差を補正します。（ドルビーデジタルで収録された DVD のみ） **オート：** D レンジコントロールが必要なときに自動的に働きます。 **オン：** D レンジコントロールが常に働きます。
HDMI 音声出力	[HDIM] 端子から音声信号を出力するか、しないかを選びます。 **オン：** [HDIM] 端子から音声信号を出力します。 **オフ：** [HDIM] 端子から音声信号を出力しません。

その他設定画面

設定項目	設定内容 （　がお買い上げ時の設定です）
リジューム	あとで続きを再生する機能（リジューム再生）の有効、無効を切り換えます。 **オン：** ■ を一回押して再生を途中で停止したあと、►（再生）を押すと、その場面から再び再生することができます。 **オフ：** リジューム再生は働きません。
オンスクリーンガイド	**オン** / **オフ**を選びます。
CEC	HDMI CEC 機能の使いかたを切り換えます。（14 ページをご覧ください。） **オン 1：** 通常の HDMI CEC 機能が使えます。 **オン 2：** テレビの電源を入れたり切ったりしても、DVD プレーヤーの電源は連動しません。そのほかの機能は「オン 1」と同じです。 **オフ：** HDMI CEC 機能は働きません。

各種設定（続き）

デジタル OUT の設定項目と出力信号の関係一覧

再生するディスク / ファイルの種類	「デジタル OUT」設定		
	ストリーム /PCM	DOLBY DIGITAL/PCM	PCM のみ
48kHz、16/20/24 ビットリニア PCM の DVD ビデオ 96kHz リニア PCM の DVD ビデオ	48kHz、16 ビットステレオのリニア PCM		
48/96/192kHz、16/20/24 ビットリニア PCM の DVD オーディオ	48kHz、16 ビットステレオのリニア PCM		
44.1/88.2/176.4kHz、16/20/24 ビットリニア PCM の DVD オーディオ	44.1kHz、16 ビットステレオのリニア PCM		
DTS の DVD ビデオ、DVD オーディオ	DTS ビットストリーム	48kHz、16 ビットステレオのリニア PCM	
ドルビーデジタルの DVD ビデオ、DVD オーディオ	ドルビーデジタルビットストリーム		48kHz、16 ビットステレオのリニア PCM
CD、VCD、SVCD	44.1kHz、16 ビットステレオのリニア PCM 48kHz、16 ビットのリニア PCM		
DTS の CD	DTS ビットストリーム	44.1kHz、16 ビットのリニア PCM	
MP3、WMA、WAV、MPEG1、MPEG2 ファイル	32/44.1/48kHz、16 ビットのリニア PCM		

HDMI CEC 機能の基本操作

HDMI 端子の CEC 制御信号により、機器間をコントロールすることができます。CEC 対応機器同士が接続していると、お互いにコントロールし合います。本機は通常の HDMI CEC 機能に対応しています。たとえば、DVD プレーヤーを操作すると、HDMI CEC 対応のテレビは自動的に電源が入ります。

- ソースが「DVD/CD」または「USB MEMORY」のときのみ、この機能は有効です。
- この機能を有効または無効に切り換えることができます。（13 ページをご覧ください。）
- 詳しくは、接続した CEC 対応機器の取扱説明書をご覧ください。
- 機器によっては、CEC 機能が働かないことがあります。
- DVD プレーヤーや CEC 対応機器の設定や使用状況によっては、CEC 機能が働かないことがあります。

レシーバーと DVD プレーヤーの接続を非同期にする

「CEC」が「オン 1」（13 ページ）のときで、接続しているテレビが DVD プレーヤーに電源を切るよう指示しても、レシーバーと DVD プレーヤーの接続を非同期にしておくと、その指示は無効にできます。

1 リモコンモード切換スイッチを [RECEIVER] 側にする

2 ⏻/I を押して、レシーバーの電源を切る

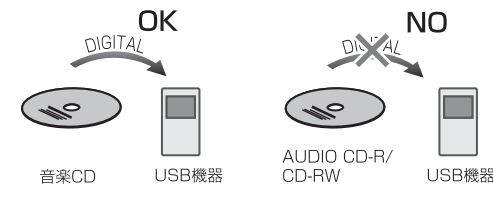
3 [メモリー] を押し続けて、レシーバーの表示窓に「SYNCHRO OFF」を表示させる

- 再び同期させるときは、もう一度 [メモリー] を押し続けて、「SYNCHRO ON」を表示させます。

SCMS (Serial Copy Management System)

CD のクリアな音を他のデジタル機器（MD、メモリー、USB など）にデジタル録音した場合、1度録音した機器から他の機器に再びデジタル信号のままコピーすることはできないようになっています。つまり、「コピーのコピー」を作ることはできません。この決まりを SCMS（シリアル·コピー·マネージメント·システム）といいます。シリアル · コピー · マネージメント · システムとは、著作権保護のため、デジタルオーディオ機器間でデジタル信号のままコピーできるのは1世代だけと規定したものです。本機は、この決まりに準拠して設計されています。

ご注意

- この規定により1度デジタル録音された CD からは、USB 機器へ録音することはできません。

お知らせ

- あなたがラジオ放送や CD、テープなどから録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれています。

私的録音補償金についてのお問い合わせ先
社団法人　私的録音補償金管理協会
☎ 03-3261-3444（代）

商標と著作権

- 本機はコピープロテクション技術が採用されています。このコピープロテクション技術は、米国などの特許等や、Rovi 社の所有するそのほかの知的財産権によって保護されています。改造または分解、リバースエンジニアリングは禁止されています。
- Microsoft、Windows Media は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- DVD ロゴは、DVD フォーマットロゴライセンシング（株）の商標です。
- 本機はドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、ドルビー、MLP Lossless およびダブルD記号はドルビーラボラトリーズの商標です。
- 米国特許 5,956,674、5,974,380、6,487,535 およびその他の国における特許 (出願中含む) に基づき製造されています。DTS および DTS 2.0 + Digital Out は DTS 社の登録商標です。DTS ロゴおよび記号は DTS 社の商標です。製品にはソフトウェアを含みます。
©DTS, Inc. All Rights Reserved.
- HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing, LLC の商標または登録商標です。
- HDCP は High-bandwidth Digital Content Protection の略称で、Digital Content Protection, LLC が認可する信頼性の高い著作権保護技術です。

再生できるディスク / ファイル

再生できるディスク	DVD ビデオ *1、DVD オーディオ、DVD VR*2、VCD、SVCD、CD*3、CD-R、CD-RW、DVD-R*4、DVD-RW、+R、+RW
再生できるファイル	MP3*5、WMA*5、WAV、JPEG、MPEG1、MPEG2

*1 DVD ビデオは、下図のリージョン番号で NTSC 方式のディスクのみ再生可能です。

*2 DVD VR は、ビデオレコーディング（VR）形式で記録された DVD-R および DVD-RW のことです。本機は CPRM に対応しています。
*3 CD は、パッケージに COMPACT disc ロゴが付いたディスクのみ再生可能です。
*4 DVD-R DL(デュアルレイヤー)も再生できます。
*5 MP3/WMA ファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成されたディスクを推奨します。

すべてのディスク、ファイル、機器において、再生を保証しているわけではありません。

DVD ビデオフォーマットで録画し、ファイナライズされた +R/+RW ディスクが再生できます。本体表示窓には「DVD」と表示します。

傷、汚れ、反り、記録状態、記録条件が原因で、ディスクが再生できないことがあります。同じような理由から、ファイル名が正しく表示されないことがあります。

USB 機器によっては、本機が認識できないことがあります。2ギガバイトを超える容量または転送レートが 2Mbps 以上のファイルは再生できません。

●再生できるデータ数の制限について
- ディスク /USB のトラック / ファイル数　4000
- グループ内の最大トラック / ファイル数　999
- ディスク /USB の最大グループ数　99

●再生できないディスク / ファイル
DVD-RAM、CD-ROM、SACD、DRM 方式のファイルなどは再生できません。

●USB 機器について
- USB ハブは使わないでください。
- USB 機器は、本機が停止状態または電源が切れた状態で取り外してください。
- USB 機器を接続したり取り外したりするときは、本機の音量を最小にしておいてください。
- すべての USB 機器の動作を保証するものではありません。
- 収録されているファイルが多いほど、本機の読み込み時間が長くかかります。
- 本機の故障または不測の事態により、USB 機器のデータが失われてしまったために発生した損害などの補償についてはご容赦ください。
- セキュリティー機能付きの USB メモリーは解除してからご使用ください。

ディスクの取り扱い
- 特殊な形状のディスクを使わないでください。
- ディスクにテープやシールを貼らないでください。

●マルチチャンネル音声について
本機はマルチチャンネル音声をダウンミックスして本機の 2 つのスピーカーまたはヘッドホンで再生します。

●テレビ方式について
本機は日本やアメリカなどのテレビ方式である NTSC に適合しています。NTSC 以外のテレビ方式 (PAL 等) 用の DVD/ ビデオ CD も、NTSC 方式に変換して再生できます。(ただし、ディスクによっては映像がコマ送りになり、画面の縦横の比率が変わるなど、正しく再生されないことがあります)

DVD ビデオ /DVD オーディオ、VCD および、SVCD は、ソフト制作者の意図により再生状態が決められていることがあります。本機は、ソフト制作者が意図したディスク内容にしたがって再生しますので、操作した通りに機能が働かないことがあります。

MP3/WMA/WAV/JPEG ファイルについて
- ディスクの記録状態や特性により再生できないことや読み取りに時間がかかることがあります。
- ディスクに記録されているグループやトラック（ファイル）の数によって、読み取り時間が異なります。
- MP3/WMA/WAV/JPEG ファイルのファイル名に半角英数字とカタカナ以外の文字が使われていると、トラック / ファイル名が正しく表示されません。
- MP3/WMA/WAV/JPEG ディスクのメニュー画面に表示されるトラック / グループの順序、およびファイル / グループの順序は、パソコンの画面に表示されるファイル / フォルダの順序と異なることがあります。
- 静止画を含んだ MP3/WMA ファイルは再生に時間がかかることがあります。再生が始まるまで経過時間は表示されません。また、正確な経過時間が表示されないことがあります。
- MP3/WMA ファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、転送レート 128kbps で作成されたディスクを推奨します。
- MP3i および MP3PRO ファイルには対応していません。
- WMA-DRM には対応していません。
- 本機ではベースライン方式の JPEG ファイルが再生できます。モノクロの JPEG ファイルは再生できません。
- 本機では DCF（Design rule for Camera File System）規格準拠のデジタルカメラで撮影した JPEG データが表示できます（デジタルカメラの自動回転機能などを使用した場合、DCF 規格にあてはまらないデータとなり、画像が表示されないことがあります）。
- パソコンの画像編集ソフトなどで加工、編集、再保存したデータは表示できないことがあります。
- MOTION JPEG ファイルなどの動画や JPEG ファイル以外の静止画（TIFF など）および音声付き画像は再生できません。
- JPEG ファイルの解像度は「640 ピクセル× 480 ピクセル」をお勧めします。それ以上の解像度では表示に時間がかかることがあります。また、「8192 ピクセル× 7680 ピクセル」を超える画像は表示できません。
- WAV ファイルは、サンプリング周波数 44.1kHz、量子化ビット数16bit を推奨します。

MPEG1/MPEG2 ファイルについて
- ストリーム構造は MPEG システムストリーム規格または MPEG プログラムストリーム規格に合致している必要があります。
- 最大解像度は「720 ピクセル× 576 ピクセル」（25fps）および「720 ピクセル× 480 ピクセル」（30fps）をお勧めします。
- 「352 × 576」「480 × 576」「352 × 288」（25fps）および「352 × 480」「480 × 480」「352 × 240」（30fps）の解像度も推奨します。
- プロファイルとレベルは、MP@ML（MainProfile at Main Level）、SP@ML（SimpleProfile at Main Level）または MP@LL（Main Profile at Low Level）である必要があります。
- オーディオストリームは、MPEG1 Audio Layer-2、MPEG2 Audio Layer-2 またはドルビーデジタル（MPEG2 ファイルのみ）規格に合致している必要があります。

故障かな?と思ったら

症状	原因	処置	参照ページ
映像 / 音声が出ない。	正しく接続されていない。	すべてのコードを正しく接続してください。	2-3
映像が乱れる。	映像信号方式が正しく設定されていない。	テレビに適した設定を選んでください。	6
画面サイズがおかしい。	画面サイズが正しく設定されていない。	テレビに適した設定を選んでください。	13
[HDMI] 端子経由で映像 / 音声が出ない。	ディスク / ファイルの形式が、本機やテレビに対応していない。	本機で再生できるディスク / ファイルの種類を確認してください。	15
	テレビが HDCP(著作権保護技術)に対応していない。	HDCP 対応のテレビを接続してください。	2
	本機がテレビを認識できていない。	HDMI コードを接続し直してください。	2
	5m より長い HDMI コードを使っている。	長さ5m以下の HDMI コードをお使いください。本機の動作と画質が安定します。	—
テレビが [HDMI] 端子に接続しているとき、映像が乱れる。	映像比率が適していない。	テレビを [VIDEO OUT] 端子に接続して、映像信号方式を設定してください。	2、6
ラジオ受信中に雑音が入る。ラジオが受信できない。	アンテナが正しく接続されていない。	アンテナを正しくを接続してください。	2
DVD ビデオが再生できない。	表示窓に「REGION ERROR」と表示されるときは、DVD ビデオのリージョン番号が本機と対応していない。	リージョン番号を確認してください。「2」、「2」を含むもの、または「ALL」以外は再生できません。	15
MP3、WMA、WAV、JPEG、MPEG1、MPEG2 ファイルが再生できない。	ディクスに異なる種類のファイルが複数記録されている(MP3、WMA、WAV、JPEG、MPEG1、MPEG2)。	「ファイルタイプ」を選んでください。「ファイルタイプ」で選んだ種類のファイルのみが再生できます。「ファイルタイプ」を選ぶ前にファイルが読み込まれてしまったときは、「ファイルタイプ」を選び直してからディスクを入れ直してください。または USB 機器を接続し直してください。	8
ツイーターから音声が出ない。	内蔵アンプの設定が「2ch-AMP MODE」になっている。	「Bi-AMP MODE」にしてください。	12
「UNLOCK」表示が出て再生できない。	光デジタルコードが正しく接続されていない。	光デジタルコードを正しく接続してください。	3

お願い

本機の故障または不測の事態により、録音およびディスクや USB 機器の再生などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の補償については、ご容赦ください。

主な仕様

レシーバー (RX-A250/RX-A200/RX-A150-N/RX-A150)

チューナー
- FM 周波数 : 76.0MHz – 90.0MHz
- AM 周波数 : 531kHz – 1629kHz

アンプ
- ツイーター出力 : 30W + 30W 4Ω (10kHz、THD10%)
- ウーファー出力 : 40W + 40W 4Ω (1kHz、THD10%)

EXT PORT
- 出力電源 : DC5V ⎓ 500mA

光デジタル入力端子 × 2 (XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 用および市販機器接続用)
　– 23dBm 〜 – 15dBm

総合
- 電源電圧 : AC100V、50Hz/60Hz
- 消費電力 (使用中) : 35W
- 消費電力 (待機中) : 2W
- 消費電力 (「DISPLAY OFF」 モード中) : 1W 以下
- 寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)〔突起部含む〕
  - RX-A250 : 282mm × 96mm × 289mm
  - RX-A200/RX-A150-N/RX-A150 : 255mm × 96mm × 289mm
- 質量
  - RX-A250 : 3.6kg
  - RX-A200/RX-A150-N/RX-A150 : 2.8kg

DVD プレーヤー (XV-A250/XV-A200/XV-A150-N/XV-A150)

USB
- USB2.0 フルスピード規格対応
- 対応機器 : USB マスストレージクラス機器
- 対応ファイルシステム : FAT16 および FAT32
- 対応ファイル形式 : 15 ページの「再生できるファイル」をご覧ください。
- 出力電源 : DC5V ⎓ 500mA

光デジタル入力端子 × 2
　– 23dBm 〜 – 15dBm

総合
- 電源電圧 : AC100V、50Hz/60Hz
- 消費電力 (使用中) : 11W
- 消費電力 (待機中) : 1W 以下
- 寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)〔突起部含む〕
  - XV-A250 : 282mm × 96mm × 260.3mm
  - XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 : 255mm × 96mm × 260.3mm
- 質量
  - XV-A250 : 3.0kg
  - XV-A200/XV-A150-N/XV-A150 : 2.3kg

録音 / 再生可能なデータ量
- ディスクあたり最大 4000 トラック / ファイル
- グループあたり最大 999 トラック / ファイル
- ディスクあたり最大 99 グループ

スピーカー (SX-WD250/SX-WD200/SX-WD150)

- スピーカータイプ : 2 ウェイバスレフ型
- 防磁形 (JEITA)*
- ツィーター
  - スピーカーユニット : 2cm ウッドドーム
  - インピーダンス : 4 Ω
  - 最大入力 : 30W
- ウーファー
  - スピーカーユニット
    - SX-WD250 : 14.5cm ウッドコーン
    - SX-WD200/SX-WD150 : 11cm ウッドコーン
  - インピーダンス : 4 Ω
  - 最大入力 : 100W
- 寸法 (幅 x 高さ x 奥行き)〔突起部含む〕
  - SX-WD250 : 198mm × 326mm × 303mm
  - SX-WD200/SX-WD150 : 163mm × 273mm × 249mm
- 質量 (1 本あたり)
  - SX-WD250 : 7.4kg
  - SX-WD200/SX-WD150 : 4.4kg

本機の仕様および外観は改善のため予告なく変更することがあります。

∗は、JEITA(電子情報技術産業協会)の測定法に基づく数値です。

0911SKMMODJMM